令和６年度　南信州広域連合自立支援協議会くらし部会（知的障がいチーム）活動報告

１　令和６年度の活動目標

昨年度の活動のまとめから検討課題を取り上げ、部会参加者からも学びたい課題を挙げてもらい年間計画を立てる。テーマによっては前年度に引き続き検討をするものもあり、部会参加者が主体的に作り上げる部会を目指す。また、地域生活の移行についての状況把握と検討、また、事例検討や実践報告から日々の支援に生かせるような学びの場とすると共に地域の課題に取り組んでいく。

２　部会の開催日程及び取組内容

年６回　概ね奇数月の第２木曜日または第３木曜日　午前10時00分から午前11時40分

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 開催月日 | 参加者 | 内容等 |
| 第１回  ５月16日（木） | 14名 | 令和５年度活動報告及び令和６年度活動計画について |
| 第２回  ７月25日（木） | 16名 | 事例検討「飯田養護学校のケース」  事例提供：飯田養護学校 |
| 第３回  ９月19日（木） | 17名 | 「地域生活の移行について」  アンケートをもとに状況把握 |
| 第４回  11月28日（木） | 16名 | 事例検討「利用者の方への支援について」  事例提供：阿南就労支援センター |
| 第５回  １月16日（木） | 20名 | 事例検討「飯田養護学校のケースその後の報告」  「コミュニケーションカード研修」 |
| 第６回  ２月20日（木） | 17名 | 令和６年度まとめと令和７年度の活動検討 |

３　活動成果

・部会開催日については、２か月に１回の頻度が適との意見が多く、年間を通じて参加していただける方も多かった。

・事例検討を通じ、他職種の部会員の参加により、立場の違いによる様々な意見交換ができ、それぞれの学びとなった。

・各事業所での課題を出し合い情報交換ができたこと、地域課題について考えることができた。

・施設入所者の地域生活への移行に関して、施設入所支援事業所からのアンケートをもとに状況を知ることができた。

・地域生活への移行を検討するにあたり、保護者の高齢化、また地域資源や日中活動、他必要な支援等についても多く意見が出された。

４　次年度に向けて検討すべき課題等

・アンケートをもとに施設入所者の地域生活の移行について検討する。グループホームの現状や他施設での取り組みの状況交換を行いたい。

・飯田養護学校の事例検討を継続して行えるとよい。

・グループワークによる事例検討を行いたい。

・高齢者の方への支援について学びたい。

・困難ケースについて、成果のあったケースについて検討したい。

　・令和８年度、基幹相談支援センター設置に関して説明会等があるといい。